

2023年 冬期講習（集中授業）について

2023年10月4日

1. 期間

12月25日（月）～12月29日（金） 全5日間

※ 講座紹介や時間割に特別な記載がないかぎり、講座はこの5日間です。

2. 授業時間

1限	8:00～10:00	4限	15:20～17:20
2限	10:20～12:20	5限	17:40～19:40
3限	13:00～15:00	6限	20:00～22:00

※ 特別講習はこの限りではありません。詳しくは講座紹介や時間割をご覧ください。

3. 受講料（テキスト代・税込）

入会金 5,500円 2年以内に集中授業または通常授業を受けた方は不要

※ 自習室会員の方（自習室会員期間中に申込みをされる場合）の入会金は3,000円となります。

1 コマ講座	(2時間×5日間)	18,700円
「ベクトル 集中講義」	(3時間×4日間)	22,440円

4. 手続き方法

原則として、どの講座も定員締切の場合を除いて自由に受講できます。

講座によっては、お申込み前に担当講師との面談が必要な講座がございます（講座紹介に掲載あり）。

面談のお申込みについては、受付窓口までお問い合わせください。

申込受付期間：10月26日（木）～12月21日（木）

窓口	取扱時間	月～金 15:30～20:30 土 13:00～18:00 日 休業
	手続方法	以下のものを受付窓口にお持ちください。 1. 受講申込書 2. 受講料現金 または 払込受領証（ATM使用の場合は「ご利用明細」）
オンライン	取扱時間	24時間
	手続方法	ヴェリタスホームページ内の専用申込フォームよりお申し込みください。 お振込金額の確認メールが届きましたら、以下のものをご用意の上メールにてご提出いただき、お申込完了となります。 1. 払込受領証（ATM使用の場合は「ご利用明細」）の写真 または スキャンデータ

(1) 受講料は下記のいずれかの口座にお振込みいただくか、ヴェリタス窓口でご納入ください。

1. 三菱UFJ銀行（0005）	本郷支店（351）	普通 4552175	東京理学会社（トウキョウカクカイシヤ）
2. ゆうちょ銀行（9900） （ゆうちょ銀行より）	記号 00140-2	番号 46586	東京理学会社（トウキョウカクカイシヤ）
3. ゆうちょ銀行（9900） （他行より）	東京支店（019）	当座 0046586	東京理学会社（トウキョウカクカイシヤ）

* 振込手数料はご本人様負担とさせていただきます。

(2) 手続き完了時に受講承諾書をお渡しします。（オンラインでのお申し込みの場合は、受講承諾メールを送信致します。）テキストの受け取り、講座受講の際に必要なになりますので初講日にお持ちください。テキストは初講日に教室で配布します。

2023年 冬期講習（集中授業）時間割 [講習会員用]

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
	8:00～10:00	10:20～12:20	13:00～15:00	15:20～17:20	17:40～19:40	20:00～22:00
12 月 25 日 ～ 12 月 29 日 (金)	M1② 中学数学 総合演習 3 限と同内容 黒谷	E1 英文法 完全定着演習 初級 野間	M1① 中学数学 総合演習 1 限と同内容 佐々木	E3 英検二級 対策講座 石本	M3 数Ⅱ微積分 標準演習 佐々木	
		E2 英文法 完全定着演習 中級 石本	M2 命題と論理 標準演習 上家		M4 三角関数・数列 ・ベクトル 基礎演習 新谷	CG 共通テスト 地理対策講座 佐久間
	S1 数学特別講座 ベクトル 集中講義 日程 : 12/26,12/27,12/28,12/29 時間帯 : 9:20-12:20 佐々木			E4 英検準一級 対策講座 升野	M5 三角関数・数列 ・ベクトル 標準演習 林	
				E5 英検一級 対策講座 田中	M6 数Ⅲ基礎演習 阿部	CET 共通テスト 倫理対策講座 田中

■ 講座コードについて

アルファベットの意味は以下の通りです。番号は通し番号です。

(G は geography(地理)、ET は ethics(倫理)です)

S : 特別講座 [非会員の方が編入される際にお勧めの講座です。]

M : 数学集中講座

E : 英語集中講座

C : 共通テスト対策講座

■ 講師は変更になることもございます。

■ 教室は当日掲示をご覧ください。

1 号館 : MAビル
2 号館 : 本郷東急ビル

‘23 冬期講習（集中授業）講座紹介

【 数学科 】

＜中学1年生～高校2年生の方を対象とする講座です＞

講座名／時間／講座コード	分野	内容紹介
Field 1 中学数学総合演習 どちらのコマも同内容です	中学 数学	「平方根」「式の展開」「因数分解」「三平方の定理」「立体幾何」などの中学後半範囲の代数・幾何のまとめと演習を行います。 特に「平方根」「展開」「因数分解」は、高校数学を行うにあたって最も基礎となるものです（逆に言えばできないと高校数学を行うことができない）。意味・背景を理解した上で、繰り返し練習し、ごく自然に操作を行えるようにすることが講座の目的です。
1 限 3 限		
Field 2 命題と論理 標準演習	数 I,II 数 A	この講座では、方程式・二次関数・三角関数などを用いて、「必要条件・十分条件」「解の配置」「等式・不等式の証明」などの演習を行います。 本講座を通して、論理記号の正しい使い方や、方程式の条件を集合としてとらえること、同値変形の仕方などを整理すると同時に、直感的にはなく論理を手がかりに物事を考えるという方法を身に付けてもらいたいと思います。 (外部生が受講する場合には、担当講師との面談が必要です。)
3 限		
Field 3 数 II 微積分 標準演習	数 II	数 II 微積分の基礎を一通り学んだ人を対象にして、様々な微積分に関連する問題を演習する講座です。微積分を、ただ形式的な計算ではなく、その意味を理解しながら自由に使えるようになることが目的です。 (外部生が受講する場合には、担当講師との面談が必要です。)
5 限		
Hybrid Field B 三角関数・数列・ベクトル 基礎演習	数 I,II 数 B	三角関数・数列・ベクトルの既習者を対象として、概念及び基本手法の定着を目的とし、演習を行います。 「なぜ、このような概念が必要なのか?」「なぜ、このようにすると解けるのか」を常に考えながら、自然に身につけていってもらいます。
5 限		
Hybrid Field A 三角関数・数列・ベクトル 標準演習	数 I,II 数 B	三角関数・数列・ベクトルの既習者を対象として、「ベクトルの手法すべての整理」「ベクトル方程式」「数列のつくるベクトル空間」「三角関数・数列の入試標準～やや難問題の演習」を行います。 基礎的な問題は背景も含めて理解していることが受講の前提となります。 (外部生が受講する場合には、担当講師との面談が必要です。)
5 限		
F4 数 III 基礎演習	数 III	数 III を一通り終えた人を対象に、基礎の完全定着を目的として演習を行います。扱う問題は、やみくもに難しいものではなく数 III において本質的なポイントを含むものに絞ります。 (外部生が受講する場合には、担当講師との面談が必要です。)
5 限		
◎ 特別講座 ベクトル 集中講義	数 B	ベクトルの全範囲に加えて、その他分野への応用を主として扱う講座です。ベクトルの既習未習を問いませんが、数列・微積分を除く I, II, A, B 他分野について一通り学び終えていることを前提とします。本講義では、幾何ベクトルの問題を解くことのみを利用されがちなベクトルの内容を、三角関数や軌跡・領域等の他分野にも応用可能な形で学ぶことを目的とします。前半はまずベクトル空間と基底について学び、そのとりかえを扱います。これにより軌跡・領域問題におけるより多様なアプローチができるようにします。後半は、内積について扱い、三角関数や初等幾何への応用、またベクトル方程式による図形の立式を扱います。
9:20-12:20		

◎のついている講座は、通常授業を受講していない外部生におすすめの講座です。

【 英語科中学部 】

<中学生の方を対象とする講座です>

講座名／時間／講座コード		学年	主分野	内容紹介
Level 1 英文法完全定着演習 初級 -中学範囲総復習-		中1 ～ 中2	不定詞 動名詞 受動態 比較 現在完了形 関係代名詞	<p>中学英文法を一通り終えた人を対象に、重要項目にテーマを絞り、演習を行います。各日のテーマは、①準動詞（不定詞・動名詞）②受動態 ③比較 ④現在完了形 ⑤関係代名詞 です。授業形態は、上のテーマにそった長文問題1問、文法問題15問、英作問題15問の、3パートの演習の後、講師が解説を行います。</p> <p>本講座では、基本事項の反復練習に焦点をあて、複雑な高校英文法を学習する前の、土台を完成させることを目的とします。先取り学習をしている中学1,2年生、基礎文法をざっとおさらいしたい中学3年生にお勧めの講座です。</p>
2限	E1			
Level 2 英文法完全定着演習 中級 -定着のための30題-		中2 ～ 中3	文型 時制 関係詞 準動詞 仮定法	<p>高校基礎英文法を一通り終えた中学2,3年生を対象に、①基本五文型 ②時制と話法 ③関係詞（関係副詞、複合関係詞含む）④準動詞 ⑤仮定法 という5大項目に焦点をあて、徹底的に演習を行います。本講座では、文法問題30題、英作問題30題の執拗な反復練習を通じ、上記文法事項の完全定着を狙います。</p> <p>これらは複雑な英文を解釈するための核とでもいえるべきものであり、これらの理解が不十分であれば、英文構造を明晰に捉えることは出来なくなります。この機会に不動の基礎を身に付け、英文解釈の基礎を完成させてください。</p>
2限	E2			

【 英語科高校部 】

<英検を受験する方を対象とする講座です>

講座名／時間／講座コード		学年	主分野	内容紹介
Level 3 & Intensive Level 3 英検二級 対策講座 -速読力・リスニング力 強化集中演習-		(中学生) ・ 高校生	英検二級 長文 ・ リスニング	直前に迫った英検二級を受験する人を対象に、「読む」「聞く」の2つを重点強化します。前半の読解分野では、英検二級で要求される量の情報処理能力を高めるため、ひとつの段落の読解と複数段落の読解を両方とも行い、「段落の情報展開」や「読者を納得させるための基本的論理の枠組」など、英文速読のための視点と技法を扱います。 後半の聴解分野では、①英文を読む、②同じ英文を音として聞く、というプロセスを繰り返します。これにより、文字という記号をゆっくり読み解く段階から、音という一次元的な存在をそのままスピーディーにつかむ段階へと高め、リスニング力を向上させるだけでなく、同時に読解の作業も迅速に行なう力も獲得でき、大量の情報処理も難なくこなすことが可能となります。 集中練習によって培ったスピーディーかつ論理的な情報分析の力を携えて、万全の体制で本番に臨みましょう。
4 限	E3			
Level 4 英検準一級 対策講座 -テーマ別語彙・ 英語論文構成法講義-		(中学生) ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 社会人	英検準一級 語彙・作文	本講座は、直前に控えた1月実施の英検準一級試験にむけて、とりわけ重要であるにもかかわらず、日頃の対策があまり行なわれていない語彙分野と作文分野を、短期集中型の授業によって飛躍的に強化していく講座です。講義ではまず、①テーマ別語彙が網羅された英文を読む、という作業を行ない、高度な語彙問題や専門分野の知識も問われる読解問題にも通用する語彙力を蓄えたのち、②テーマ別語彙を用いて英文を書く、という作業を行ない、単独でとらえていた語彙を、広く英文全体のなかで把握する視点を身につけます。最後は、③テーマ別の英語長文を読み、その部分的な和訳を行うことにより、専門的な内容を理解・和訳する力を育てます。 集中学習によって高めた語彙力と、専門的な内容の英訳・和訳力を携え、万全の体制で本番に臨みましょう。
4 限	E4			
Level 5 英検一級 対策講座 -上級時事英文精解講義-		高校生 ・ 大学生 ・ 社会人	英検一級 長文・作文	英検一級をはじめとする実用英語検定試験に出題される日常世界の時事的トピックを扱った英文は、その対象とする専門的課題や、時事英文ならではの叙述スタイル、圧倒的な情報量などを特徴とし、日頃、具体的な日常から離れた抽象度の高い、比較的短い英文だけを読むことに慣れ親しんだ人は、不安や苦手意識を感じていると思います。本講座では、そうした障壁を取り除くべく、実際の英文を読み解きながら、①時事的論点の整理（政治・経済・軍事・社会問題）、②時事問題への受講者による論評（短い論説文の執筆作業）を行ないます。さらに、今日生起しつつある世界的問題の淵源をさぐるべく、国連憲章や日米の憲法、日米安全保障条約、あるいは言語・労働などの問題に関する法的・歴史的原典資料にも目を通す作業を行ないます。各種翻訳の助けも借りながら、一言一句をゆるがせにしない政治的現場のありようまで把握することができれば、この講座の目的は完成です。 （外部生が受講する場合には、担当講師との面談が必要です。）
4 限	E5			

■ 参考資料 – VERITAS の英語クラス編成と到達可能な各種英語検定のレベル対応

レベル別 最終到達ライン	英検	TOEIC	TOEFL(PBT)	TOEFL(iBT)	国連英検	ケンブリッジ英検
Level 1	3 級	320	410	35	D 級	KET
Level 2	準 2 級	420	450	45	C 級	PET
Level 3	2 級	600	510	65	B 級	FCE
Level 4	準 1 級	790	570	85	–	(CAE)
Level 5	1 級	900-990	630-677	110-120	A-特 A 級	CAE-CPE

どの試験に挑戦するかは、個人の興味と関心により、初講時に個別に設定することになります。

個々の試験の測定できる技能には差異があり、必ずしも相互のレベルが完全に一致するものではありません。

どのレベルのクラスも、基本的に3月終講となるため、自ら選択した試験を、TOEIC・TOEFLでは3月に、各種英検では受講中の1月もしくは終講後の6月、10月に受験することになります。